



10月号
第3日曜日は、
「家庭防災の日」



ひなんくんれん さんか ちゅうい
今月のテーマ『避難訓練に参加するときに注意すること』

しょうがっこう ねん かいひなんくんれん おこな
小学校では、年に3回避難訓練を行います。

みなさんは、いつもどんなことに気をつけて避難訓練に参加していますか？

ことば かんが か
□にあてはまる言葉を考えて書いてみよう。

①

を まもって 行動しよう。

ひなんくんれん あいことば もじ ことば
避難訓練の合言葉の4文字の言葉です。

じぶん いのち おぼ
自分の命をまもるために覚えておきたいですね。

②

を おぼえよう。

あんぜん とお みち
安全な通り道のことです。

③

を いしきしよう。

ゆっくりよりは、すばやくできるとよいですね。



じぶん
『自分の



じぶん
は、自分でまもる』

① おはしをも まもって 行動しよう！

おさない



はしらない



しゃべらない



もどらない



ほんとう じしん かさい お かんが じんけん こうどう
本当に地震や火災が起きたら、、、と 考えて、真剣に行動しましょう。

② ひなんけいろを 覚えよう！



ひなんけいろは、ひなんするのに安全な通り道です。教室からひなんするときは、どこを 通って 運動場 に行く ときよいのか 覚えておく といざ といふとき 安心して。また、地震や火災はいつ 起こるか 分かりません。トイレにいたら、図書室にいたら・・・、どうやってひなんする ときよいのか 考えてみるのもいいですね。

③ 時間をいしきしよう！



ひなん 避難はすばやくできるとよいです。前回の訓練よりも、運動場で並ぶまでの時間が短くなるよう心がけましょう。

【自助と共助】 この言葉を知っていますか？

災害を未然に防ぎ、被害を最小限におさえるための大事な言葉です。

自助とは、自分の命を自分で守ることをいいます。備蓄品を用意したり、家具の固定をしたりしておくこと、そして台風や地震などの災害について学ぶことなど。

共助とは、自分たちの地域は自分たちで守ること。地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うことをいいます。地域の防災訓練に参加したり、災害が起きた時には、隣近所の人と協力して消火活動をしたり、けがをした人を助けたりすることなど。

自分の命を守ることは、家族や地域の人を守ることもつながります。